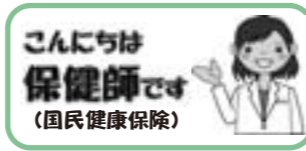


# 毎年必ず“特定健診”を受けましょう！

## 40～75歳未満のすべての方が対象です



平成20年4月から、生活習慣病の予防と早期発見を徹底するために、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査（＝特定健診）」と、その結果に基づいて適切な健康づくりを支援する「特定保健指導」を実施しています。今年は次の日程と会場で特定健診を奥出雲町国保の主催で行います。

生活習慣病は、治療に長い時間と多くの医療費がかかります。毎日の生活習慣を見直すとともに、毎年1回必ず健診を受けて自分のからだをチェックし、生活習慣病を予防しましょう。

健診日	健診場所	対象自治会
6月7日(木)	奥出雲健康センター	布勢地区の一部(八代、佐白)
6月8日(金)		布勢地区の一部(馬馳、上三所)
6月11日(月)		三成地区の一部(高尾、宇根美女原等)
6月12日(火)		三成地区の一部(上三成、滝の上、上本町等)
6月13日(水)	鳥上コミュニティセンター	鳥上地区
6月27日(水)	横田コミュニティセンター	横田地区の一部(中村、稲原等)
6月28日(木)		横田地区の一部(横田等)
7月6日(金)	八川コミュニティセンター	八川地区
7月9日(月)	馬木コミュニティセンター	馬木地区
7月19日(木)	奥出雲健康センター	亀嵩地区の一部(亀嵩)
7月20日(金)		亀嵩地区の一部(郡、高田)
7月23日(月)		阿井地区の一部(真地、上阿井町、福原等)
7月24日(火)		阿井地区の一部(平、雲崎、堀、小寄等)
7月24日(火)		三沢地区

- ※ 受付時間は、各日とも8:30～概ね14:10です。
- ※ 健診会場の混雑を少なくするために、出来るだけご案内の時間にお出かけ下さい。
- ※ 国保以外の被用者保険被扶養者の方も受診できますが、事前予約が必要です。下記お問い合わせ先までご連絡下さい。
- ※ 自己負担金1,000円が必要です。その他詳細は5月下旬に発送する案内文書をご覧ください。

### 【今年の健診はここが違う！】

- \* 今年度の健診から、検査項目に①尿酸検査（痛風等の検査）、②クレアチニン検査（腎臓検査）、③アミノ酸分析による内臓脂肪測定（島大医学部実施）が加わります。また、横田地域で健診時に同時実施している肺ガン検診が最新のヘリカルCT検査になります。
- \* 特定健診（集団健診）を受診された方には、大腸がん検診無料クーポン券（通常自己負担金1,000円）を贈呈します。  
〔有効期限：当日～平成24年12月末〕



今年も受診  
しなくっちゃ！

＜お問い合わせ先＞  
役場健康福祉課  
医療介護保険グループ  
有線 31-5121、31-5122  
電話 54-2511

## あいサンホーム20床増床



▲増床されたあいサンホーム



▲和風調の個室



▲広々としたリビング

特別養護老人ホーム「あいサンホーム」が二十床増床され、四月二十六日に竣工祝賀式が行われました。新しい施設は、個室十室ずつの二つのユニットで構成され、それぞれに共有のキッチン、浴室、リビングがあり、個室は畳と障子の和風調。個々

のペースに合わせた生活がきたり個室になじみの家具を設置できるなど、入居者が少しでも自宅に近い環境でゆったりと快適に過ごせるよう工夫されています。この二十床増床に期待している」とありさつが、井上町長からは「この施設が入居者や家族の笑顔がふれる施設になってほしい」とそれぞれ期待を寄せました。続いて松本憲二郎施設長から施設の概要と運営について説明がありました。祝賀式に続いてミニクラシックコンサートが行われ、美しいピアノの音色と歌声が新しい施設に響き渡りました。

## 安心・安全で 楽しい絆の町づくり

安心・安全な町づくりのため、自主防犯パトロールなどの活動を行う青色パトロール隊「ブルーセイフティ奥出雲」を中心に、4月29日、三成小学校校庭で地域住民に子どもや高齢者などの犯罪被害防止や交通事故防止を呼びかけるイベントが行われました。会場では、ご長寿交通安全号での運転能力診断や起震車体験、東日本大震災救援活動パネル展示、自衛隊車両の展示のほか、ステージでは振り込め詐欺を再現した寸劇、小学生の110番通報体験、警察音楽隊などの演奏が行われ、訪れた人は楽しみながら防犯と交通安全の理解を深めました。



▲三成小児童の踊りで賑わう会場

### ベストセラー「りんごは赤じゃない」で紹介 太田恵美子さんが講演

#### 「夢と志を持つ子どもを育てるために」

（財）奥出雲多根自然博物館主催の「人を育てる講演会」がNPO法人GDVI（グローバルドリームビジョン・インターアクション）理事長の太田恵美子さんを講師に迎え、四月二十九日に同博物館にて開催されました。太田さんは「世界的視野に立った優れた夢と優れた構想を持ち、地域（地球）に貢献

できる人間を育てる教育」を「GDV教育」と称し、その指導の下制作された生徒たちの美術作品は、国内外から高く評価されています。また、その取り組みを詳しく紹介した書籍「りんごは赤じゃない」はベストセラーとなり、テレビ番組でも話題となりました。「常に命がけで子どもたちと接すること。教育の原点は、



▲熱心に語る太田さん(左)

自分がどんな人間になりたいか、そのためには何が必要かを子どもたち自身が考え、実現に向けた取り組みを自身で決定できるように導くことである」と理念を熱く語る太田さんの姿に、会場を埋めた約六十人の聴講者は真剣に耳を傾けていました。